



沖縄から平和を考える

～語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で恒久平和の実現を～



▲連合三重から9名が参加



▲ひめゆり学徒隊の説明を受ける



▲アブチラガマ



▲2023連合平和オキナワ集会



▲挨拶する
連合本部芳野会長

6月23日～25日にかけて、連合本部主催の「連合2023平和行動in沖縄」に、連合三重からは廣瀬副会長を団長に、連合愛知、連合岐阜とともに参加しました。

23日は、「連合平和オキナワ集会」に参加し、講演と式典が行われました。

24日は、ピースフィールドワークに参加し、アブチラガマ、平和祈念資料館、平和の礎、ひめゆり平和祈念資料館などの南部戦跡を、連合沖縄青年委員会ピースガイドの説明を受けながら巡りました。現地で沖縄の地上戦の実相を学び、改めて次世代への継承の大切さを実感しました。

6月23日は沖縄「慰霊の日」です。78年前の沖縄では、米軍との3カ月に及ぶ激しい地上戦で約20万人の命が奪われました。連合は、引き続き8月(広島と長崎)と9月(根室)にも「平和行動」に参加します。全国の仲間とともに、今を生きる人たちそして次世代へ語り継ぐための運動を続けていきます。

「平和パネル展」で 世界の恒久平和を訴える

連合三重では、戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え語り継ぐ運動として、被爆地である広島・長崎、沖縄、北方領土に関する展示を行う「平和パネル展」を毎年開催しています。

今年も7月22日～30日にかけて三重県総合博物館 学習交流スペースにおいて展示を行い、世界の恒久平和を訴えかけました。



「ピースあいち」で 平和 を学ぶ

6月22日、戦争と平和の資料館「ピースあいち」において、国民運動検討委員会から11名が参加して「視察学習会」を開催しました。

愛知県の空襲の被害状況や実際に空襲を受けたその瞬間のお話など、経験された方から生の声を聞かせていただき、改めて戦争の悲惨さや世界の恒久平和について学ぶ機会となりました。



▲語り手の方から空襲体験を聞く



「ピースあいち」

〒465-0091
愛知県名古屋市長区よもぎ台2丁目820
TEL 052-602-4222



政策・制度実現に向けて



▲一見知事へ要請書を提出

7月12日、三重県庁において、連合三重三役から三重県知事へ政策・制度に関する要請を行いました。三重県知事に対して「政策・制度 実現に向けた要請書」を提出し、雇用の安定と公正労働条件の確保やジェンダー平等をはじめとする多様性の実現等の19項目を要請しました。

番条会長は冒頭の挨拶で、物価上昇や価格転嫁の課題や中小・地場企業への支援策等について要請し、一見知事は項目の中から、産業構造の変化に伴う「公正な移行」に向けた支援や、外国人労働者の支援策などについて述べられました。

連合三重の要請に対して知事は、「日本が今後も経済成長を続けるには賃上げが不可欠。国も賃上げに全力で取り組んでいる。」と説明し、「皆さんからも意見を頂戴し、より良い三重を作っていきたい。」と述べられました。連合三重では引き続き、誰一人取り残されることのない社会の実現をめざすため、関係団体に要請を行うとともに各種審議会等に意見反映を行っていきます。

最低賃金行政に関する要請書を提出



6月2日、三重労働局において、番条会長より「2023年度最低賃金行政に関する要請書」を金尾局長に提出し、最低賃金審議会委員とともに意見交換を行いました。

今年の最低賃金については、今期春闘での賃上げの流れを全ての労働者へ波及させることが求められています。それは、日本が長年続いてきたデフレマインドから脱却し、経済を好循環へ導くためにも必要です。

連合三重は、将来の生活に希望が持てる社会を実現するために、引き続き労働者の声を行政に届けていきます。



▲金尾労働局長へ要請書を提出

専門委員会の視察会が開催される

コロナ禍の影響でここ数年間は視察会を見送っておりましたが、今年は各地で視察会を開催することができました。労働組合のネットワークを通じ、普段は見られない場所の見学や意見交換の場を設けていただくなど、格別の配慮をいただき、大変有意義な機会となりました。ご協力いただきました事業所様に心より感謝申し上げます。



◆中小労働委員会 5月24日
「味の素株 東海工場」



四日市市

◆政策・制度検討委員会 5月25日
「中部電力株 浜岡原子力発電所」



静岡県

◆金属部門連絡会 6月19日～20日
「東芝エネルギーシステム株 京浜事業所」
「ANA Blue Hangar Tour(機体工場)」

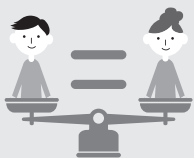


神奈川県
東京都

◆政策・制度検討委員会三役・新政みえ
6月27日～28日
「外国人在留支援センター」
「デジタル庁」



東京都



男女平等月間(6月)の取組み

男女平等月間に合わせて、様々な取組みを行いました。連合三重では引き続き、男女間格差の是正に向け、働きかけを続けていきます。



◆連合統一街宣
津駅前(6月6日)



◆女性のための労働相談
連合三重事務所(6月6日~7日)



◆ジェンダー平等推進委員会の視察
連合宮崎との意見交換(6月12日~13日)



◆三重労働局へ「男女平等」に関する要請行動
ジェンダー平等推進委員会
山門委員長(6月14日)



◆ジェンダー平等推進学習会
講師:本田一成教授(6月29日)



◆三重県知事との懇談
ジェンダー平等推進委員会(7月12日)

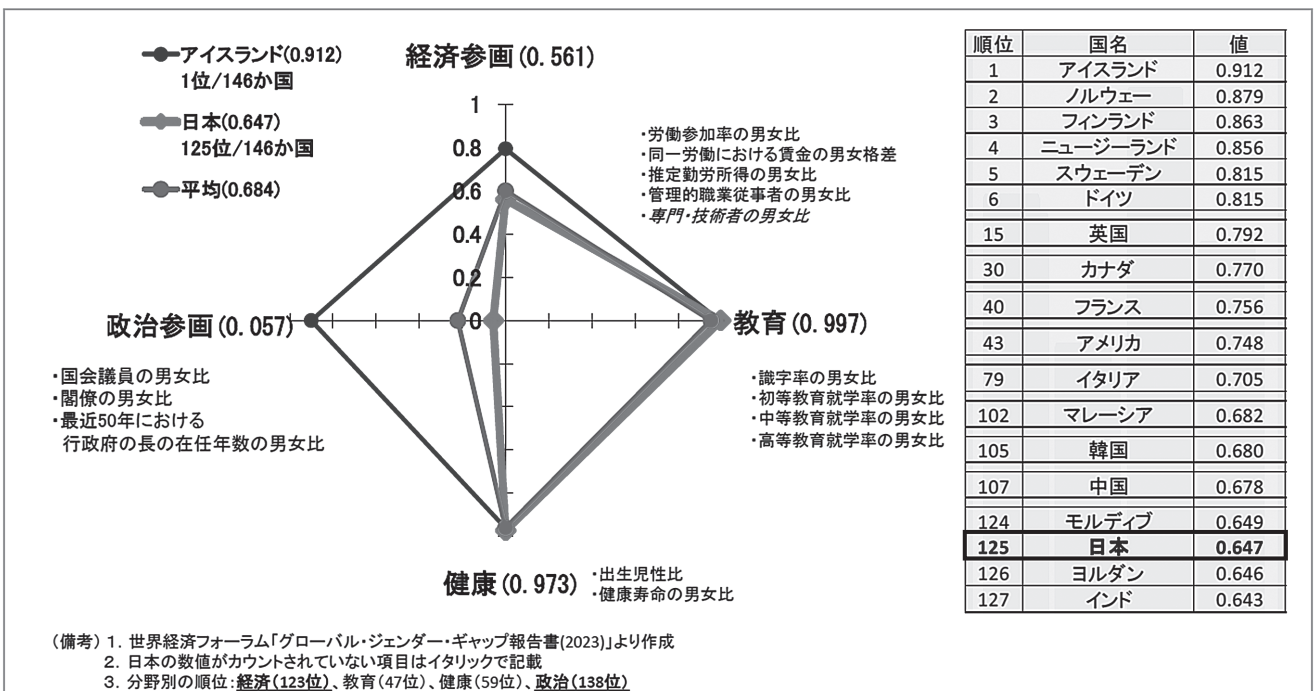


125位 過去最低「ジェンダー・ギャップ指数」



世界経済フォーラムが各国の男女格差の状況について調べた2023年版「ジェンダー・ギャップ・報告」で、日本は調査対象となった146カ国中125位という結果で、前回の116位から更に順位を落とし過去最低を更新してしまいました。日本が足踏みしている間に、世界との差はどんどん開いています。この機会に改めて身の回りの「男女間格差」について考え、出来ることから行動を起こしていきましょう。

ジェンダー・ギャップ指数(GGI) 2023年



93名の参加で組合員・家族と交流

in鈴鹿サーキット

～青年委員会主催「2023ユースフォーラム」～

6月10日(土)、鈴鹿サーキットにおいて「2023ユースフォーラム」を開催しました。

今回のユースフォーラムでは、連合三重の青年委員会が組合員とその家族に参加を呼びかけ、「鈴鹿サーキットでのウォークラリー」の企画・運営を行いました。梅雨時期の開催ということで天気が心配されましたが、当日は雨の心配もなく園内では笑顔あふれる楽しい交流が生まれました。

ウォークラリーには、お子さまもたくさんご応募いただいたことから、ウォークラリー中に答えていただくクイズは、遊園地のアトラクションに関するものを多く準備したり、ラッキーBOXやボーナスポイントを準備したりと全ての参加者の皆さんに楽しんで頂けるような企画を考えました。事前打合せの回数が限られていたにもかかわらず、青年委員や参加者の皆さんのご協力のもと、大きなトラブルもなく開催が出来ましたことを感謝しております。

今後も連合三重青年委員会は、様々な研修やイベントを通じて、青年組合員の連携強化や次世代を担うリーダーの育成に力を入れていきます。



▲93名の皆さまにご参加いただきました



▲職場の仲間やファミリーでチーム対抗♪



▲アトラクションに乗ってボーナスポイントゲット



▲ラッキーBOX抽選にドキドキ



▲1位の賞品は伊賀米と松阪牛



▲暑い中スタッフも頑張りました

連合三重を広める活動 テレビCM放送

連合三重は、三重テレビで放送された全国高等学校野球選手権三重県大会の期間中に、連合三重のCMを放送しました。



安心社会づくりに向けた福祉活動に、各種団体と連携して取り組みます

N三重県労福協

〒514-0004 津市栄町1丁目891
三重県勤労者福祉会館内
TEL 059-225-2855
FAX 059-229-4433
ホームページ <http://www.mie-rofkyo.jp>

豊かで、公正な社会づくりをめざして。

R 東海ろうきん

健康・安心・貢献
〒514-0003 津市桜橋2丁目126番地
TEL 059-224-0336
FAX 059-224-4819
ホームページ <http://tokai.rokin.or.jp>

私たちは、日本でただひとつ。はたらく人のための生活応援バンクです。

こくみん共済

〒514-0004 津市栄町4-259-1
TEL 059-227-6167
FAX 059-225-5069
ホームページ <https://www.zenrosai.coop>

共済事業をとおして「労働者福祉運動」をサポートします。

三重県住宅生協

〒514-8540 津市栄町1丁目891
三重県勤労者福祉会館内
TEL 059-225-0851
FAX 059-225-0337
ホームページ <http://www.mie-jsk.or.jp/>

理想の住まいづくりをカタチにする暮らしのパートナー。